

## 2018 年度（平成 30 年度）事業報告

我が国が少子高齢化の急速な進展により人口の減少過程にある中、国の高齢者施策の中長期的指針である「高齢社会対策大綱」において、経済社会の活力を維持するため、エイジレスに働ける社会の実現に向けた環境整備を図るとしている。その中で、国は多様な形態による就業機会の確保の一環として、地域の日常生活に密着した仕事を提供するシルバー人材センター事業を推進するとしており、シルバー人材センターの果たす役割に大きな期待を寄せている。

このような状況の中、当センターでは 2018 年度（平成 30 年度）においても「広く地域社会から信頼され、愛されるセンター」を目指し、第二次中期計画に基づき、組織の根幹である会員の確保と就業機会の拡大、安全就業の徹底などを重点に取り組んだ。

会員の確保については、センター事業を運営するうえで根幹をなすものであり、新規入会者の加入促進や会員の退会防止に努めたが、再雇用や雇用延長の定着などもあり入会者の減少が続くとともに、健康上の理由などによる退会者が増加したことから、会員数は減少し、依然として厳しい状況となった。

就業機会の拡大については、労働者派遣事業では、今日の労働力不足の状況を反映し当センターへの依頼は受注件数、契約額とも前年度を上回った。一方で、請負・委任業務においては、受注件数、契約金額とも減少し、全体としては契約金額は前年度を下回った。

安全就業面では、平素の作業状況を点検する安全パトロールを強化し事故の未然防止に取り組んだが、就業途上・帰途の交通事故、転落や刈払機による小石飛散事故などが多く発生し、事故件数は前年度より増加した。

2018 年度（平成 30 年度）の事業実績と実施状況は、次のとおりである。

### 1 会員の確保

2018 年度（平成 30 年度）の正会員の状況は、入会者 152 人、退会者 203 人、年度末の会員数は、1,317 人（男性 909 人、女性 408 人）で、2017 年度（平成 29 年度）末の会員数に比べ、51 人（3.7%）減となった。

#### （1）新規入会者の入会促進

- 毎月第 4 木曜日に本部と北部事務所での入会説明会のほかに、5 月・6 月・1 月・2 月には、本部と北部事務所での入会説明会を各 1 回追加実施するとともに、10 月・3 月には東部・西部・北部地域や市中心部で入会説明会を実施した。
- 入会説明会に理事が出席して、就業体験の紹介や就業相談に応じ、具体的な就業情報の提供にも取り組んだ。あわせて、会員互助会への加入奨励も行った。
- 入会説明会後の入会手続き段階で、個別相談に応じるなど入会促進に努めた。
- ハローワークと連携して、県連合が主催する高年齢者技能講習の出席者に

対し、入会案内を実施した。

- 広島県シルバー人材センター連合会及び県内のシルバー人材センターと共同でラジオ広報を実施した。
  - 新聞記事下広告を新聞社2紙の備後版に掲載し、入会説明会の周知と入会促進に努めた。
  - 会報誌「いきいきふくやま」や事務局だより、職域班会議等を通して、会員に新規入会者の勧誘を要請した。
- (2) 女性会員の加入促進
- 会員の知人同伴での家事援助講習会を開催するなど、女性会員の加入促進に取り組んだが、女性会員が前年度と比較し22人減少した。
- (3) 会員の退会防止の推進
- 新規入会者と未就業会員への就業の提供
    - ・新規入会者や未就業会員に対し、剪定合同作業や封入作業などの就業機会の提供と就業情報の提供を行った。
    - ・未就業会員に対する就業に関する意向確認調査を実施し、より就業相談をしやすい環境づくりや直接的な案内の強化に努めた。
  - 会費未納者の退会防止
    - ・就業案内や電話による就業相談を個別に実施し、会費未納による退会の防止に努めた。

## 2 就業機会の拡大

### (1) 発注者の満足度向上に向けた講習・研修の実施

○会員の接客・技能向上などに向け、次の講習会・研修会を実施した。

講習・研修名	開催日	参加人数
リーダー及びサブリーダー研修会	7月25日・27日	94人
家事援助講習会	7月31日・2月6日	62人
宛名書き講習会	10月17日・24日・31日	50人
刈払機取扱い(カルマー)講習会	7月27日	11人
草刈安全講習会(飛散防止・防護対策)	10月17日	62人
労働者派遣会員研修会	11月13日、2月21日	17人
剪定講習会「上級編」	3月4日・5日・8日	22人
接遇研修会	3月26日	53人

- 発注者にさらに満足していただける取組を推進するため、センター利用者に対し就業内容アンケート調査を実施した。概ね良好であったが、多くの要望意見が寄せられており、就業内容の向上に向け、引き続き改善に取り組む。
- (2) 新規事業の就業の拡大
- 福山市から介護予防・日常生活支援の生活支援サービス業務等を引き続き受注した。また、新たな公園の除草業務や施設管理の確保に努めた。
- (3) 労働者派遣事業の推進

○労働者派遣事業については、前年度からの継続した事業所からの受注に加え、新たな事業所から送迎車両運転業務などを受注した。

#### (4) 独自事業の推進

○再生自転車販売事業、チップ事業、さわやかまなび教室事業に取り組んだ。

#### (5) 人材の育成

○グループ就業の推進のためのリーダーの育成や新規入会員等の接客・技能向上に向け、次の講習会・研修会を実施した。剪定では、入門編の講習会を実施し、参加会員 8 人のうち 3 人が剪定班で就業した。

講習・研修名	開催日	参加人数
リーダー及びサブリーダー研修会	7月25日・27日（再掲）	94人
剪定講習会（入門編）	7月19日・20日・23日・24日	8人
接遇研修会	3月26日（再掲）	53人

### 3 普及啓発活動の推進

#### (1) 計画的で効果的な普及啓発活動の推進

○福山市の広報紙及び関係機関の機関誌を活用した PR 活動

・福山市広報紙「ふくやま」への PR 記事の定期的な掲載や大型記事の掲載をはじめ、福山市老人クラブ連合会や福山市社会福祉協議会の機関誌への PR 記事の掲載など当センターの事業紹介に取り組んだ。

・広島県シルバー人材センター連合会及び県内のシルバー人材センターと共同でラジオ広報を実施した。（再掲）

○ホームページを活用し、シルバー人材センター事業の紹介や入会案内などの情報発信に取り組んだ。

○会報誌「いきいきふくやま」や「事務局だより」の発行

・会報誌や事務局だよりを発行し、会員にセンター事業の周知を図るとともに、会員による新規入会者の勧誘を要請した。

○新聞記事下広告を新聞社 2 紙の備後版に掲載し、入会説明会の周知に努めた。（再掲）

#### (2) ボランティア清掃活動等の社会活動の推進

○5 月の福山ばら祭と 10 月の「シルバーの日」に福山市役所本庁舎とかんなべ市民交流センター周辺で清掃ボランティア活動を実施した。また、「ふれあい福祉まつり」にも参加してリーフレット配布・チップなどの販売を行い、シルバー事業の PR 活動に取り組んだ。

### 4 安全就業の推進

2018 年度（平成 30 年度）の事故は、傷害事故が 13 件、賠償事故が 12 件、熱中症が 3 件で、計 28 件発生し、2017 年度（平成 29 年度）と比べると全体で 8 件増加した。傷害事故で 4 件増、賠償事故で 5 件増、車両賠償事故 1 件減となっている。傷害事故では、転落等による事故や就業途上・帰途の交通事故が依然として多く発生し、賠償事故では、公園作業等での刈払機による小石飛散事故が多く発生した。

- 傷害事故 落下・転落による事故 7件 就業途上・帰途の事故 6件
- 賠償事故 刈払機による小石飛散事故 4件 誤操作による物損事故 4件
- 接触による物損事故 4件
- 熱中症 3件

(1) 安全委員会・安全パトロールの実施

- 安全委員会を6回開催し、安全就業推進計画と安全対策重点項目を定め、事故の未然防止の観点から、安全パトロール実施要領に基づき平素の作業状況の安全パトロールを9回実施した。
- 刈払機による小石飛散事故の原因分析と対策を検討し、「安全だより」やリーダー会議などでその情報の共有を図り、事故の未然防止に努めた。
- 夏期の熱中症対策（実施期間：7月25日～8月31日）を実施した。

(2) 作業前ミーティングの実施と安全就業チェックシートの活用の徹底

- 「安全だより」や各職域班リーダー会議を通して、作業前ミーティングによる安全対策の実施や「安全適正就業チェックシート」の活用による安全点検の取組の徹底を図った。

(3) 安全講習・研修の推進

- 会員の技能向上、知識の取得及び安全就業のため、次の講習会・研修会などを実施した。
- 公園に飛散防止用の刈刃（カルマー）を配置するとともに、飛散防止と防護対策に重点を置いた草刈安全講習会を実施した。

【講習会・研修会】

講習・研修名	開催日	参加人数
剪定講習会（入門編）	7月19日・20日・23日・24日 （再掲）	8人
草刈安全講習会（飛散防止・防護対策）	10月17日（再掲）	62人
交通安全講習会	12月6日（北部）、12月11日（本部） 12月14日（西部）	99人
剪定講習会「上級編」	3月4日・5日・8日（再掲）	22人
刈払機取扱講習会	3月26日	12人

【各職域班リーダー会議等】

会議名		開催日	参加人数
剪定班	役員会議	6月8日・28日、11月22日	18人
	リーダー・サブリーダー会議	6月28日、2月22日	85人
公園班	リーダー会議	7月4日、3月22日	47人
草取班	リーダー会議	6月29日、3月29日	27人
草刈班	リーダー会議	6月19日	14人
施設管理班	リーダー会議	3月27日	14人

(4) 会員自らによる健康管理の推進

- 事務局だよりで、福山市の健康診査受診を呼びかけるなど、会員自らによる健康管理の注意喚起を行った。

## 5 適正就業の推進

### (1) 適正就業の推進

○労働者派遣事業について、民間事業者に周知を図り、発注者ニーズに応じた就業に取り組んだ。

### (2) 就業機会の均等化の推進

○公共事業部門のワークシェアリング（公共業務の公募）の実施

・より多くの会員が公平に就業できるよう公共事業部門でワークシェアリングを実施し、26人が新規に就業することとなった。

○新規入会者と未就業会員への就業の提供（再掲）

・新規入会者や未就業会員に対し、剪定合同作業や封入作業などの就業機会の提供と、請負・委任業務や労働者派遣事業の就業情報の提供を行った。

### (3) 発注者の満足度向上の推進

○講習会・研修会（再掲）

・会員の接客・技能向上などに向け、次の講習会・研修会を実施した。

講習・研修名	開催日	参加人数
リーダー及びサブリーダー研修会	7月25日・27日	94人
家事援助講習会	7月31日・2月6日	62人
宛名書き講習会	10月17日・24日・31日	50人
刈払機取扱い(カルマー)講習会	7月27日	11人
草刈安全講習会(飛散防止・防護対策)	10月17日	62人
労働者派遣会員研修会	11月13日、2月21日	17人
剪定講習会「上級編」	3月4日・5日・8日	22人
接遇研修会	3月26日	53人

○発注者にさらに満足していただける取組を推進するため、センター利用者に対し就業内容アンケート調査を実施した。概ね良好であったが、多くの要望意見が寄せられており、就業内容の向上に向け、引き続き改善に取り組む。（再掲）

○職域班リーダー会議や事務局だよりなどを通して、発注者への迅速な連絡と作業前や完了後の確認の確実な実施、就業報告書の迅速な提出などを依頼し、発注者へのサービス向上に取り組んだ。

### (4) 新たな積算基準の導入に向けた取り組み

○草刈作業における作業効率を把握するため、草刈班の協力を得て草刈作業の所要時間等の実績を収集した。

## 6 公益社団法人としての組織体制の充実強化

### (1) 公益社団法人としての組織の機能強化

○会員確保に向けた取組みや安全就業の推進、新積算基準の導入などのため、理事会や理事会専門委員会、各種委員会を開催した。

○会員による自主的な運営ができる組織づくりを推進するため、職域班の

リーダー会議や、会員経験交流研修会の実施などに取り組んだ。  
 ○欠員となっていた事務局体制の整備を図るため職員採用試験を実施し、  
 2名を雇用することとした。

【総会・理事会等の開催状況】

①定時総会[1回]

開催月日	内 容
6月14日	議案審議 議案第1号 2017年度（平成29年度）事業報告について 議案第2号 2017年度（平成29年度）収支決算について 議案第3号 理事の選任について 報告事項 報告第1号 2017年度（平成29年度）収支補正予算について 報告第2号 2018年度（平成30年度）事業計画について 報告第3号 2018年度（平成30年度）収支予算について

②理事会 [4回]

開催月日	内 容
5月16日	議案審議 議案第1号 2017年度（平成29年度）事業報告について 議案第2号 2017年度（平成29年度）収支決算について 議案第3号 理事候補者の選考について 議案第4号 表彰について 議案第5号 2018年度（平成30年度）定時総会について 議案第6号 理事長に対する権限委任について 報告事項 報告第1号 正会員入会者の報告について 報告第2号 未収金の回収状況について
10月16日	議案審議 議案第1号 職員就業規則の一部改正について 議案第2号 個人情報保護規程の全部改正について 議案第3号 特定個人情報事務取扱規程の一部改正について 報告事項 報告第1号 正会員入会者の報告について 報告第2号 職務執行状況の報告について 報告第3号 事業報告について 報告第4号 公益法人法に基づく立入検査結果について 報告第5号 就業に関する意向確認調査結果について 報告第6号 正会員会費の納入状況について 報告第7号 未収金の回収状況について 報告第8号 発注者の満足度調査の実施について

2月14日	<p>報告事項</p> <p>報告第1号 正会員入会者の報告について</p> <p>報告第2号 職務執行状況の報告について</p> <p>報告第3号 事業報告について</p> <p>報告第4号 広島県最低賃金の見直しに伴う配分金単価の改定について</p> <p>報告第5号 就業内容アンケート調査の結果について</p> <p>報告第6号 ワークシェアリング（公共業務）の取組みについて</p> <p>報告第7号 正会員会費の納入状況について</p> <p>報告第8号 未収金の回収状況について</p>
3月15日	<p>議案審議</p> <p>議案第1号 情報システム刷新資産取得資金の変更について</p> <p>議案第2号 2018年度（平成30年度）収支補正予算について</p> <p>議案第3号 2019年度（平成31年度）事業計画(案)について</p> <p>議案第4号 2019年度（平成31年度）収支予算(案)について</p> <p>議案第5号 理事長に対する権限委任について</p> <p>議案第6号 職員就業規則の一部改正について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 2018年度（平成30年度）収支決算見込について</p>

③理事会専門委員会 [1回]

開催月日	内 容
9月3日	<p>○普及啓発委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「シルバーの日」ボランティア清掃等普及啓発活動等について</li> <li>・新聞記事下広告について</li> <li>・その他啓発事業について</li> </ul>

④会計監査[1回]

開催月日	内 容
5月10日	<p>監査事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 2017年度（平成29年度）事業報告について</li> <li>(2) 2017年度（平成29年度）収支決算報告について</li> <li>(3) 会計帳簿等について</li> </ol>

(2) 公益社団法人としての業務運営の効率化

- 全国シルバー人材センター事業協会主催の派遣元責任者講習会や実務担当者研修会などに出席し、事務局職員の資質向上と事務処理能力の向上に努めた。

## 7 財政基盤の確立

- センターの事業基盤強化に向け、会員の確保や就業機会の拡大、公共業務や労働者派遣事業等の開拓に努めた。
- 請求書の早期送付など会員と連携して迅速な事務処理に取り組み、売上金の早期回収と未収金の防止に努めるとともに、会費未納者へは就業機会の提供を図り、就業を通じた会費納入の促進に努めた。
- 計画的、効率的な予算執行と経費の節減に努めた。
- 受注、就業の状況は次のとおりである。

### 【請負・委任業務の受注状況と就業状況】

- ・受注件数 10,070 件（対前年度比 662 件減）
- ・契約金額 514,027,982 円（対前年度比 36,549,106 円減）
- ・公共事業と民間事業の比率  
公共 25.56% 民間 74.44%（うち個人 58.81% 企業等 41.19%）
- ・契約金額に占める職域群ごとの割合
  - 運搬・清掃・包装等の職業（除草、草刈、屋内清掃など） 52.50%
  - 農林業の職業（剪定、伐採、農作業など） 28.11%
  - サービスの職業（家事援助サービス、駐車場管理など） 13.67%
  - 生産工程の職業（襖障子張替、チラシ封入作業など） 3.04%
  - 事務的職業（一般事務、宛名書き、筆耕など） 2.24%
  - 建設・採掘の職業（大工・左官など） 0.22%
  - 輸送・機械運転の職業（自動車運転など） 0.18%
  - 専門的、技術的職業（刃物研ぎ、ハチ駆除など） 0.04%
- ・受託件数 14,851 件（対前年度比 754 件減）
- ・就業延人員 128,492 人（対前年度比 7,774 人減）
- ・就業率 77.0%（対前年度比 3.3 ポイント減）

### 【労働者派遣事業の受注状況と就業状況】

- ・受注件数 138 件（対前年度比 38 件増）
- ・契約金額 69,514,174 円（対前年度比 19,948,453 円増）
- ・就業延人員 14,716 人（対前年度比 4,348 人増）
- ・就業率 72.0%（対前年度比 4.0 ポイント減）